



加茂市学校教育の重点 <目指す子どもの姿>自ら考え心豊かでたくましく生きるふるさと加茂を愛する子ども
4つの柱 <確かな学力 / 豊かな心 / 健やかな体 / ふるさと加茂に貢献する人材の育成>
8つの重点事項 <授業改善 / 特別支援教育 / 道徳教育 / 人権教育、同和教育 / 外国語教育、国際理解教育 / 体育・健康 / キャリア教育 / 生徒指導>
4つの努力事項 <情報教育 / 防災教育 / 幼保小中連携 / 環境教育>



～生徒の実態～

- ・生徒会や部活動等の諸活動に主体的に取り組む
- ・地域に元気と感動を届けたいという意欲が高い
- ・学力は全国水準よりやや低い
- ・他人とかかわることをやや苦手としている

《教育目標》

豊かな心と正しい判断力を持ち
進んで実行するたくましい生徒

《重点目標》

- 「夢とプライドをもって挑戦し続ける生徒」
「自ら進んで他と交流しながら学ぶ生徒」
(1) 夢をもっている生徒90%以上
(2) 葵中生にプライドをもっている生徒90%以上
(3) 目標達成に向けて挑戦している生徒90%以上

～保護者・地域の願い～

- ・いじめや問題行動のない落ち着いた学校
- ・相手を思いやり、協力関係を築ける生徒
- ・言語活動を通して、自ら学び、思考力のある生徒
- ・規則正しい生活を送り、健康や体力の維持・増進に努める

知

言

語

徳

活

動

体

《確かな学力》

◎ 基礎・基本を身に付け、他と交流しながら学びを深める生徒

＝達成目標＝

- (1) 「基礎学力テストの合格（80点以上）率」生徒90%以上
(2) 「クラスで自分の考えや想い、気持ちなどが言える」生徒90%以上
(3) 「他の人の考えを聞いて、自分の考えを見直したり考え直したりする」生徒90%以上
(4) 「『振り返り』を書くことで、授業や単元で学んだ内容を自分のことばで振り返ることができている」生徒90%以上
(5) 「『見通し』を立てることで、これからの学習についての目標をもって取り組むことができている」生徒90%以上

《豊かな心》

◎ 協力しながら自ら意欲的に活動し、自己有用感を高める生徒

＝達成目標＝

- (1) 「誰とも良好な人間関係が保てている」生徒90%以上
(2) 「自分から大きな声であいさつや返事をしていく」生徒90%以上
(3) 「学校・学級は、居心地がよい」生徒90%以上
(4) 「学校は生徒ひとり一人を大切に丁寧な対応をしている」と感じている保護者90%以上
(5) 「学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる」生徒90%以上

《健康と体力》

◎ 望ましい生活習慣を身に付け、健康や体力の維持・向上に励む生徒

＝達成目標＝

- (1) 「新体力テスト（5段階）」で総合評価C以上の生徒90%以上
(2) 「進んで体育や部活動で体を動かしている」生徒90%以上
(3) 「睡眠時間を7～8時間程度とっている」生徒90%以上
(4) 「決められた時間内でメディア利用をコントロールできている」生徒80%以上

《理想とする生徒を育成するための教育活動》

1 「基礎・基本を身に付ける」授業づくり

ア 基礎学力テストにおける「事前・事後学習」に取り組みます。

2 「生徒が学びを深める」授業づくり

イ 生徒が興味・関心をもって意欲的に取り組める「課題づくり」を工夫します。

ウ ノートやプリント、振り返りシートを見返すなどして、既習内容を活用する場面を作ります。

エ ペア活動やグループ活動を積極的に取り入れ、思考の交流を促します。

オ 対話しやすい環境づくりのため、生徒が安心できる環境を整えます。

3 「学びを振り返り、自ら調整して学習に取り組む」授業づくり

エ 文章記述を行って、学びの「振り返り」を工夫します。

オ 学びの「見通し」の場を工夫します。

1 お互いの考えの違いや良さを認め合える「社会性」の育成

ア 良好な人間関係を育む活動（SST・SGE・QU等）を実施します。

イ 授業や生徒会活動等であいさつに関わる取組や指導を行います。

2 いじめや不登校を生まないための生徒の心に寄り添う「支援」の推進

ウ いじめ等の未然防止・早期対応のため教育相談等を活用します。

エ 常に保護者と連絡を取り合い、「保護者と連携」して対応します。

3 生徒が主体となって取り組む「生徒会活動」の推進

オ 生徒会活動や行事で、「生徒が主体」となって取り組むように支援します。

1 体力・技能を向上させようとする「自主性」や「意欲」の育成

ア 「新体力テストの結果」を生徒の体力や技術の向上に役立てます。

イ 自主的・自発的に部活動に取り組めるように、「練習内容の効率化」を工夫させます。

2 夢と希望を実現させるための「望ましい生活習慣」の促進

ウ 「生活習慣向上キャンペーン」の結果を家庭と共有しながら、生徒に望ましい生活習慣を考えさせます。

エ SNS講演会等を実施して、「メディアの使い方」を学ぶ機会を設定します。

教育活動を推進するための基盤

◆ 開かれた学校の推進 ◆

○ 保護者・地域との連携

- ・生徒会による地域貢献活動の実施
- ・学校だより、学年だよりの発行
- ・葵中ホームページの充実
- ・地区懇談会、サポート委員会の開催
- ・学校評価の公表と目標・課題の共有
- ・保護者・地域の参画・協力による取組

◆ 生徒の特性を活かした教育の推進 ◆

○ 特別支援教育の充実

- ・個に応じたきめ細やかな対応の充実
- ・全校態勢による特別支援教育の推進

◆ 郷土を支える人材の育成 ◆

○ キャリア教育の充実

- ・3年間を貫く「総合学習」の見直し
- ・夢を描く「キャリアパスポート」の活用

◆ 学区小学校との連携 ◆

○ 小中連携推進委員会による推進

- ・知・徳・体の3部会の充実

○ 3部会による取組活動の充実

- ・小中間での授業公開
- ・メディアコントロールの取組
- ・小中共同研修
- ・小中情報交換